

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の目標値	本事業の年次目標値	本年度	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
安堵町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	全国学力テストの県平均との差があることにより、基礎学力の向上が課題。	家庭学習の習慣が少しずつはあるがついてきている。様々な体験活動に「めあて」を設定して実施することで、学習や体験活動への意欲を高める取組を行う。	小学生を対象にした放課後子ども教室を実施し、広報周知を行う。活動内容は、学習支援及び体験活動であるが、後者の内容に学習性を持たせる。	家庭で日常的に学習を行う児童生徒が増える。	家庭で日常的に学習に取り組むようになった、または、以前より勉強がわかるようになったと回答した児童生徒の割合	50	%	70	70	3 学習用端末を活用することで生徒が自ら学習教材を選択できる仕組みに変更したことから子どもたちは得意科目に取り組むことができ、授業理解度やさらに学びたいという意欲の向上がみられた。